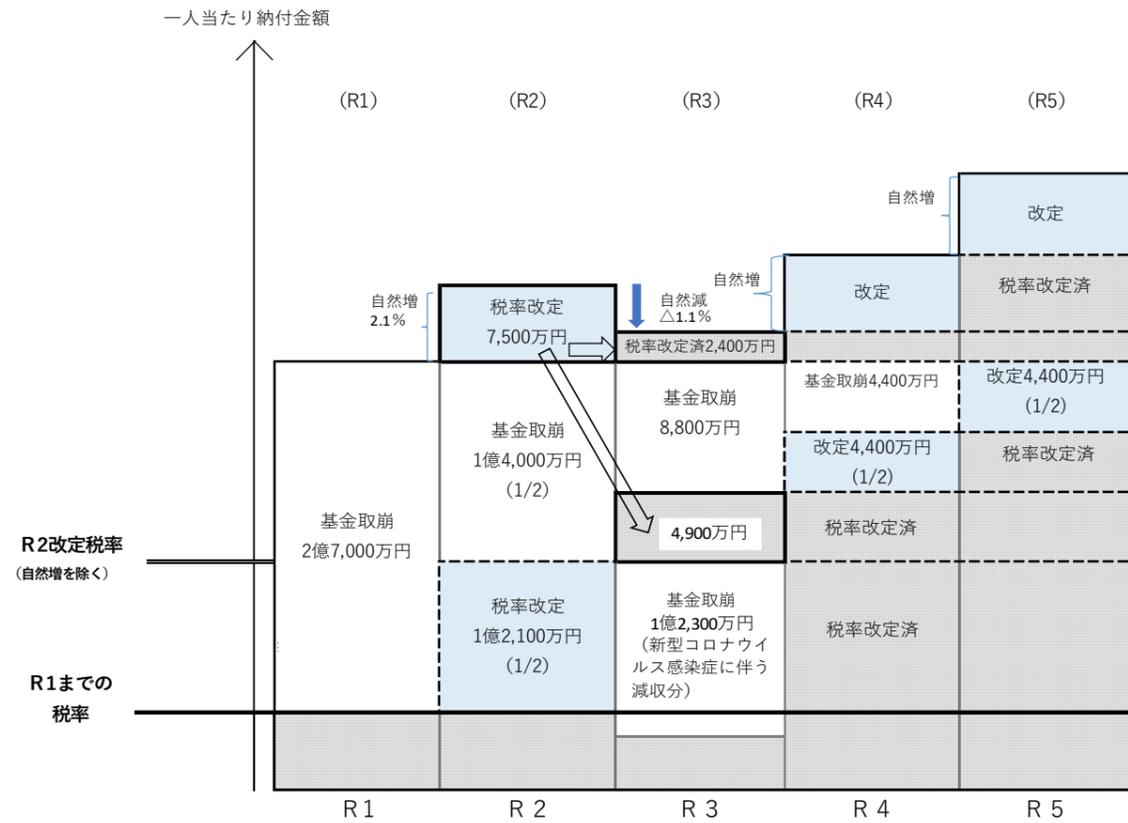


令和4年度本係数に基づく納付金及び収支見込み等について

- | | |
|------------------------------------|-----|
| 1. 税率改定と基金の状況 | …P1 |
| 2. 加入世帯数・被保険者数の推移 | …P2 |
| 3. 現年度収納額と収納率の推移 | …P3 |
| 4. 令和4年度本係数に基づく本市における納付金及び保険税額について | …P4 |

1 税率改定と基金の状況

令和3年度 税率検討時 (R3.1) における見込



年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収支	△2億7,000万円	△3億3,600万円	△2億1,100万円

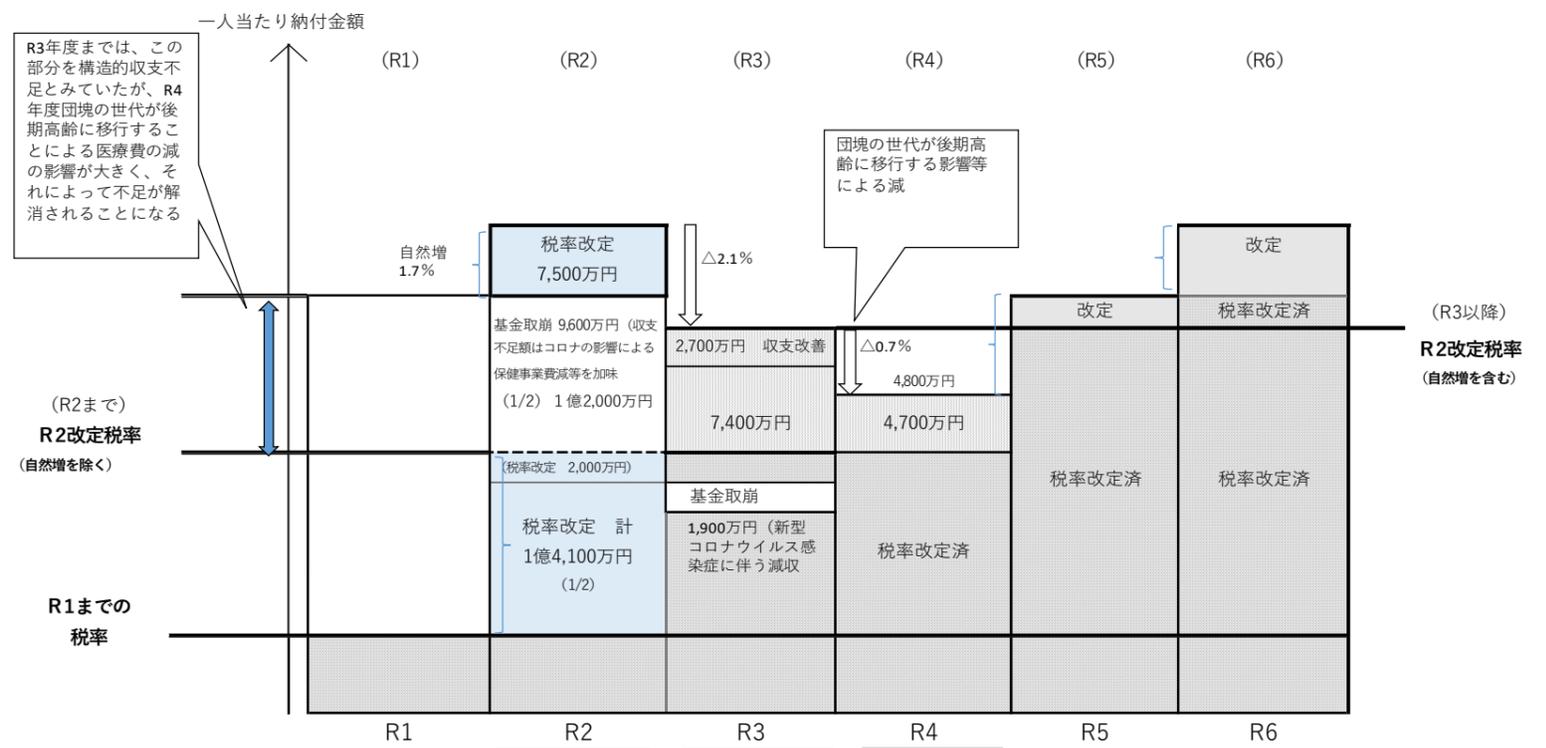
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
改定額		196,000	0
基金取崩	270,109	140,000	88,000
基金積立	284,792		123,000
基金残高	1,040,658	900,658	689,658

←新型コロナウイルス感染症に伴う減収分

【令和3年度の税率検討における考え方】

・令和3年度は一人当たり納付金が前年度より減少したことや、令和3年度末の基金残高が令和2年度税率改定検討時より増加していることから、税率改定を実施しないこととした。

令和4年度 税率検討時 (R4.1) における見込



年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込)	令和4年度 (見込)
収支	△2億7,000万円	△1億2,000万円	△1,900万円	+4,800万円

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込)	令和4年度 (見込)
改定額		216,000	0	0
基金取崩	270,109	96,601	19,000	0
基金積立	284,792	10	41,000	9,000
基金残高	1,040,657	944,066	966,066	1,023,066

←普通調整交付金申請誤りに係る一般会計繰入金

【令和4年度の税率検討における考え方】

・令和3年度の決算見込は、被保険者数の増や新型コロナウイルスの影響による国保税の減収が見込みより少なかったことなどにより改善していること、また令和4年度は団塊の世代が後期高齢者医療制度に移行する影響などにより、一人当たり納付金が令和3年度より減少し、収支は黒字見込みであることから上図では税率改定をしないこととしている。

2 加入世帯数・被保険者数の推移 (見込数値は令和3年12月末実績に基づく推計)

(単位：人)

		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度見込	令和4年度見込	
世帯数	一般	21,032	20,361	19,940	19,716	19,445	
	退職	60	11	0	0	0	
	合計	21,091	20,372	19,940	19,716	19,445	
被保険者数	一般	65歳未満	16,649	16,012	15,459	15,111	14,715
		65歳～69歳	7,232	6,273	5,647	5,206	4,784
		70歳以上	9,075	9,151	9,324	9,477	8,819
		計	32,956	31,436	30,430	29,795	28,317
	退職	116	17	0	0	0	
	合計	33,072	31,453	30,430	29,795	28,317	
対前年度比較		94.89%	95.10%	96.75%	97.91%	95.04%	
介護2号被保険者(再掲)	一般	9,961	9,678	9,474	9,398	9,286	
	退職	101	16	0	0	0	
	合計	10,061	9,694	9,474	9,398	9,286	

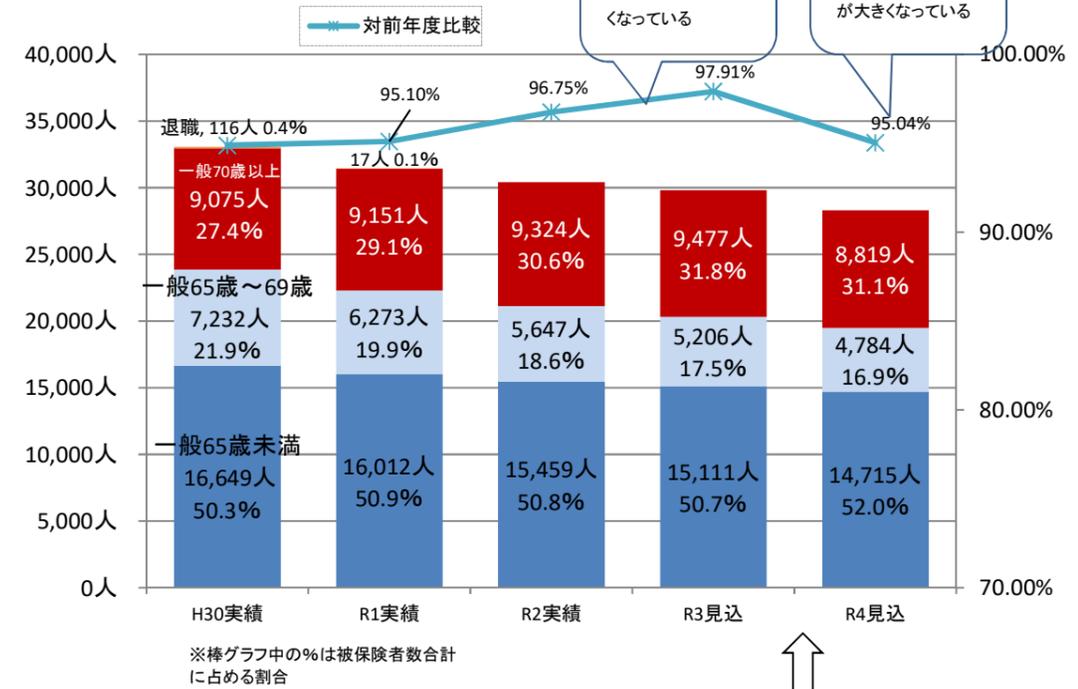
※世帯数、被保険者数は4月～3月ベースの平均値

※各々平均値をとっているため積み上げが合計欄の数値と一致しないことがある

※退職被保険者は退職者医療制度の経過措置終了により令和元年度末で対象者がなくなった

加入世帯数・被保険者数の推移

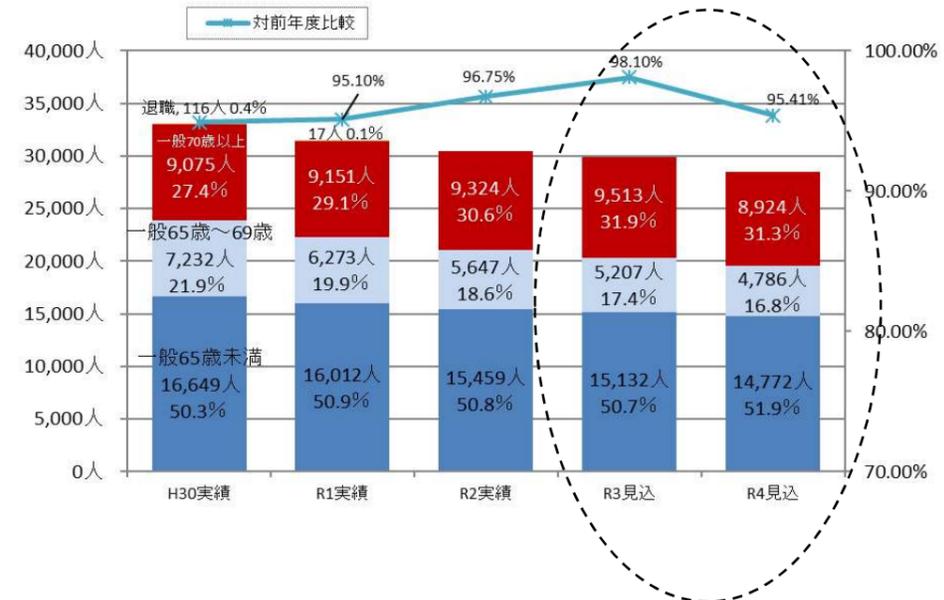
(R3.12月末実績に基づく)



※棒グラフ中の%は被保険者数合計に占める割合

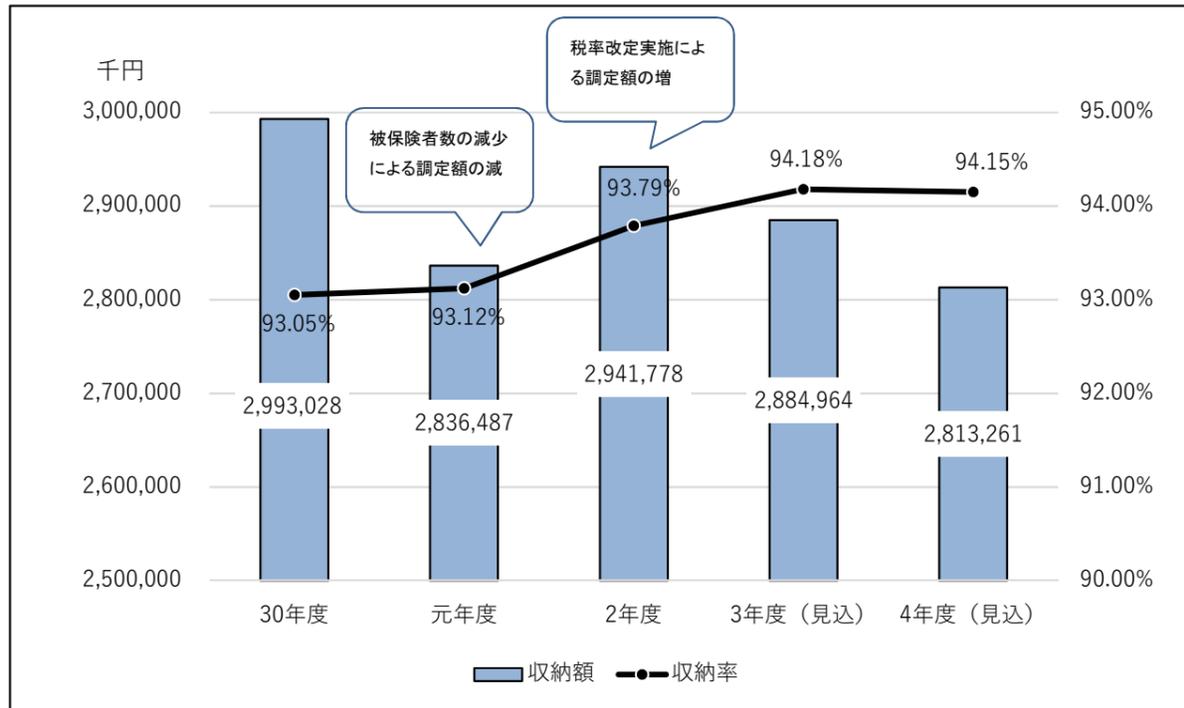
《R3.10月末実績に基づく見込みとの比較》
 R3.11、12月の実績で社会保険を離脱して国保に加入する人の数が減少していることなどから、平均被保険者数見込を修正した。
 (平均被保険者数)
 R3年度 29,852→29,795人 △57人
 R4年度 28,481→28,317人 △164人

第2回運協資料 (R3.10月末実績に基づく)



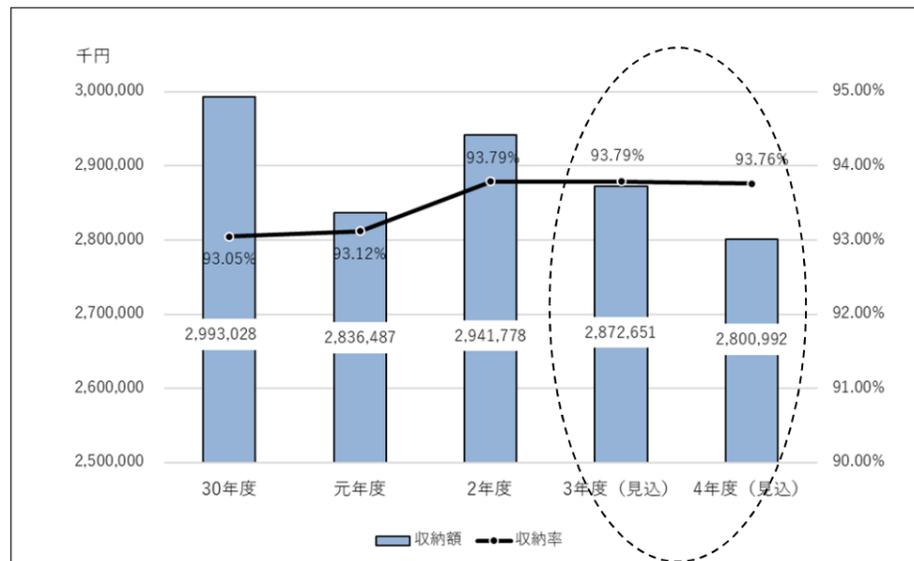
3 現年度収納額と収納率の推移

(全体)

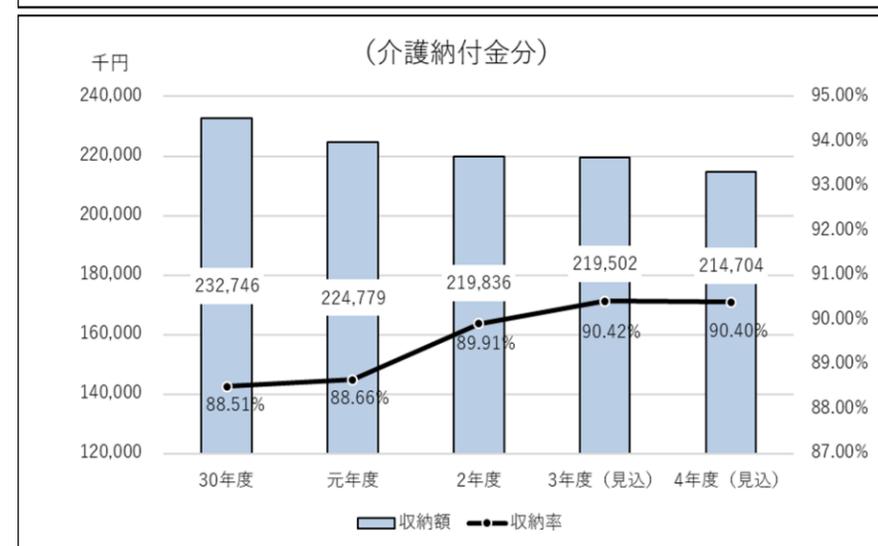
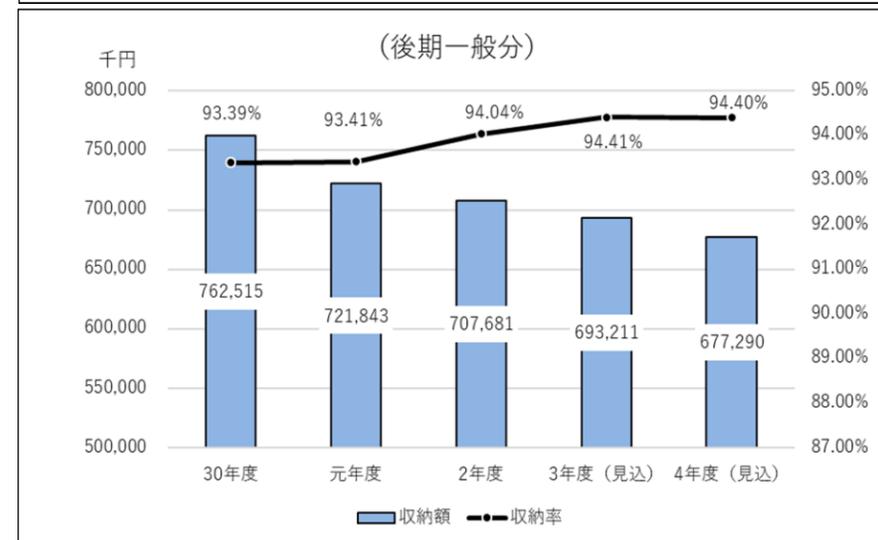
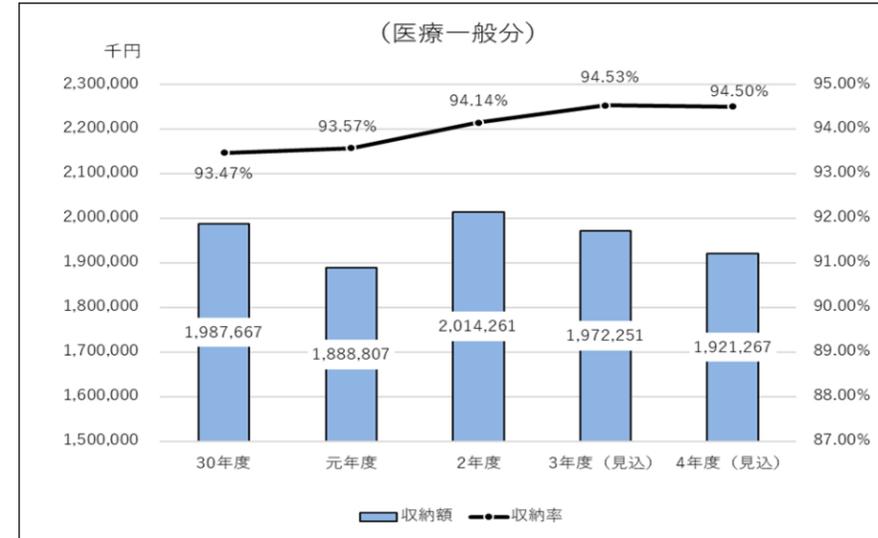


《R3.10月末実績に基づく見込みとの比較》
R3.11月の実績を考慮して収納率見込を上方修正した。

第2回運協資料 (R3.10月末実績に基づく)
(全体)



(内訳)



4 令和4年度本係数に基づく本市における納付金及び保険税額について

1 医療分

納付金額	医療分（一般分）①	（参考） 左記の納付金額に反映された激変緩和の額	0円
	2,882,088,490円		

○必要な保険税額

納付金額（上記①）に納付金とは別に歳出が必要なもの（下記②）を加えるとともに、税以外の歳入が見込まれるもの（下記③）を控除した金額（下記④）を算出する。

保険税算定のための調整項目（+）		保険税算定のための調整項目（-）	
・保健事業費	合計②	・保険者支援制度	合計③
・医療費適正化の対策事務費		・国特別調整交付金	
・特定健診に関する費用		・県繰入金	
・予備費		・保険者努力支援制度	
・諸支出金 等		・過年度の保険税収納	
	166,004,000円	・諸収入 等	850,090,684円

必要な保険税額（※1） ④（①+②-③）
2,198,001,806円

 ※1…軽減されている金額（一般分）を含む。

○現在の税率で見込まれる保険税額等との差額

所得（※2）	18,423,383千円	→	現在の税率で見込まれる 調定額⑤	2,406,578,645円
被保険者数（※3）	28,317人			
世帯数（※4）	19,445世帯			

調定額から補てん額を差し引いて収納率を乗ずる	↓	収納率⑨ 94.50%
（現在の税率等で見込まれる補てん額）		

基盤（軽減分）見込額⑥	356,241,277円	→	保険税収入見込額⑩ （⑤-⑥-⑦-⑧）×⑨	1,920,658,227円
条例減免分補填額⑦	12,901,000円			
子ども均等割補填額⑧	4,993,800円			

保険税収入見込額に軽減分等補てん額を加算する	↓	軽減分等を含む保険税見込額⑪（⑩+⑥+⑦+⑧）	2,294,794,304円
必要保険税額との差額⑪-④			
			96,792,498円

※2… 令和3年4月時点での所得情報に、令和4年度の被保険者数の減少率等を反映させた市の推計値。
 ※3、4… 市の推計値を使用。
 ★賦課限度額の引き上げを反映している

2 後期高齢者支援金分

納付金額	支援金分（一般分）①	（参考） 左記の納付金額に反映された激変緩和の額	0円
	923,784,430円		

○必要な保険税額

納付金額（上記①）に納付金とは別に歳出が必要なもの（下記②）を加えるとともに、税以外の歳入が見込まれるもの（下記③）を控除した金額（下記④）を算出する。

保険税算定のための調整項目（+）		保険税算定のための調整項目（-）	
・歳出還付	合計②	・保険者支援制度	合計③
		・過年度の保険税収納	
		3,817,000円	

必要な保険税額④（※1） ①+②-③
818,986,313円

 ※1…軽減されている金額を含む。

○現在の税率で見込まれる保険税額等との差額

所得（※2）	18,423,383千円	→	現在の税率で見込まれる 調定額⑤	852,770,264円
被保険者数（※3）	28,317人			
世帯数（※4）	19,445世帯			

調定額から補てん額を差し引いて収納率を乗ずる	↓	収納率⑨ 94.40%
（現在の税率等で見込まれる補てん額）		

基盤（軽減分）見込額⑥	129,081,936円	→	保険税収入見込額⑩ （⑤-⑥-⑦-⑧）×⑨	677,218,886円
条例減免分補填額⑦	4,539,000円			
子ども均等割補填額⑧	1,756,440円			

保険税収入見込額に軽減分等補てん額を加算する	↓	軽減分等を含む保険税見込額⑪（⑩+⑥+⑦+⑧）	812,596,262円
必要保険税額との差額⑪-④			
			△ 6,390,051円

※2… 令和3年4月時点での所得情報に、令和4年度の被保険者数の減少率等を反映させた市の推計値。
 ※3、4… 市の推計値を使用。
 ★賦課限度額の引き上げを反映している

3 介護納付金分

(参考)

納付金額	介護分（一般+退職）①	左記の納付金額に反映された激変緩和の額	0円
	349,147,778円		

○必要な保険税額

納付金額（上記①）に納付金とは別に歳出が必要なもの（下記②）を加えるとともに、税以外の歳入が見込まれるもの（下記③）を控除した金額（下記④）を算出する。

保険税算定のための調整項目（+）		保険税算定のための調整項目（-）	
・歳出還付		・保険者支援制度 ・過年度の保険税収納	
合計②	1,246,000円	合計③	46,397,125円

必要な保険税額④（※1） ①+②-③ 303,996,653円

※1…軽減されている金額を含む

○現在の税率で見込まれる保険税額等との差額

所得（※2）	6,526,532千円	→	現在の税率で見込まれる調定額⑤	286,355,635円
被保険者数（※3）	9,286人			
世帯数（※4）	8,023世帯			

調定額から補てん額を差し引いて 収納率を乗ずる		収納率⑨ 90.40%
----------------------------	--	----------------

（現在の税率等で見込まれる補てん額）

基盤（軽減分）見込額⑥	48,149,420円	→	保険税収入見込額⑩	214,656,802円
条例減免分補填額⑦	754,000円		（⑤-⑥-⑦）×⑨	

保険税収入見込額に軽減分等補てん額を加算する		軽減分等を含む保険税見込額⑪（⑩+⑥+⑦） 263,560,222円
------------------------	--	---------------------------------------

※2… 令和3年4月時点での所得情報に、令和4年度の被保険者数の減少率等を反映させた市の推計値。

※3、4… 市の推計値を使用。

必要な保険税額との差額⑪-④ △ 40,436,431円

必要な保険税額との差額（全体分） 49,966,016円
